

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-92	中学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15 三省堂	国語 902		現代の国語 3	

1 編修の基本方針

言葉に学び、言葉で生きる

主体的に学ぶ

学び方を習得し、見通しをもって自覚的に活用しながら、学びに向かう力を高めます。

対話をとおして学ぶ

他者との交流・共有をとおして、多様な価値観が共生する社会で生きる力を高めます。

深く学ぶ

知識・技能と思考力・判断力・表現力を確実に育成し、言語文化の担い手を育てます。

この教科書は、教育基本法に掲げられた目標及び学習指導要領の目標を達成するために、次の6点を基本方針として編修しました。

主体的に学ぶ

① 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

② 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

対話をとおして学ぶ

③ かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

④ 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

深く学ぶ

⑤ 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

⑥ 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

① 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

- 「領域別教材一覧」に示した「つきたい力」や、各教材の冒頭に示した目標によって見通しをもち、自律的に学習を進め、振り返ることによって身につけた力の自覚と達成感、次の学びへの意欲が得られるように構成しました。
- 小学校からの接続に配慮し、基礎・基本を確実に習得する学習からスタートして、身につけた力を繰り返し活用しながら、無理なく段階的に国語の力を伸ばしていくことができるよう、系統的に構成しました。

② 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

- 多様な学習活動に活用できる「学び方」を身につけることを重視しています。
- 各学年のはじめには、基本となる「読み方」に焦点化して学習する「プレ教材」を設定しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材や「読むこと」教材の「学びの道しるべ」には、思考と語彙に関する解説を設けて、「知識・技能」の確実な習得を図り、豊かな活用への道筋を開いています。

③ かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

- 対話・交流・共有によって学習を進めていくことを大切にしています。相手や目的などの条件を意識して的確に表現する力を育成できるようにしました。
- 考えの異なりを対話によって理解し合い、より創造的な合意を生み出すことができるような学習の流れを重視しています。

④ 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

- 多様な考えをもつ他者とのかかわりによって、異なる意見を尊重しながら、自分のものの見方・考え方を拡充できるような学習活動や教材を設定しました。
- さまざまな価値観が並立するグローバル社会、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるよう、題材を選定し、単元を構成しました。

⑤ 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

- 多くの知識を蓄え、技能を習得することとともに、それらを活用して「自分の考え」を形成することへと展開しています。
- 「何がわかり、できるようになったか」ととどまらず、「あなたはどのように考えるか」と繰り返し問い、自分自身にとっての切実な問題として学習が成立するように構成しました。
- 思考や表現によって「自分の考え」をつくり、対話を繰り返しながら自己認識と他者理解を深めていくことを目指しています。

⑥ 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

- 社会生活の中で読書に親しみ、言語文化にふれて自らを豊かにする誘いとなるような教材を配列しました。
- 生涯にわたって本を読み続け、さまざまな言語文化にみずみずしい興味・関心をもち、その担い手となることを願って、学習活動や資料を設定しました。

2 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取り上げ、教科書の該当ページを示しました。

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)		
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。			
本編	読書の文化	詩	初恋 (島崎藤村)	●文語のリズムで綴られた豊かで美しい詩を読むことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うことをねらいとしています(第一号)。	156~158	
		小説	握手 (井上ひさし)	●誠実さと無償の愛を貫く登場人物の姿をエピソードを織り交ぜて情感深く描いた作品を読むことをとおして、豊かな情操と道徳心を培うこと(第一号)、また、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うとともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと(第二号)をねらいとしています。	20~31	
		小説	故郷 (魯迅 [訳] 竹内好)	●時代の変化の中で社会のあり方や生きることの意味を問う作品を読むことをとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	162~177	
		解説 俳句	俳句の世界 (夏井いつき) 俳句十句	●我が国固有の言語文化として愛され続けてきた俳句の世界にふれ、そのよさと価値を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	62~70	
		評論	問の文化 (長谷川權)	●「問」という観点で日本の文化の特徴を西洋と対比して論じる文章を読むことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	44~51	
		随想	希望 (大石芳野)	●アウシュビッツ強制収容所から生還し、希望を失わずに生き延びた人物を描いた文章を読むことをとおして、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	78~83	
		論説	フロン規制の物語 (神里達博)	●地球環境を守るためのフロン規制について書かれた文章を読むことをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。	88~97	
		論説	「文殊の知恵」の時代 (北川達夫)	●グローバル化する世界で持続可能な社会を築くために、多様な価値観をもつ人々と協力する必要性を説く文章を読むことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うこと(第二号)、また、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。	182~185	
				読み方を学ぼう	●読みの方略を学ぶことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	32, 40~43, 71, 98, 130, 178
		言語文化	古文	和歌の世界—— 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	●我が国の美しい自然や豊かな心を描いた伝統的な言語文化である和歌の世界にふれ、そのよさと価値を理解することをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)、また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	108~117

図書構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。		
本編	我が国の言語文化	漢文	論語	●我が国に古くから親しまれている論語を読み味わうことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	132~134
	話すこと・聞くこと	グループディスカッション	合意形成に向けて話し合いを計画的に進める	●課題解決のための方策について話し合い、互いに協力して合意を形成しようとする活動をとおして、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	34~37
		パブリックスピーキング	状況に応じて話す力を養う	●公の場で自分の町の魅力と社会問題に対する主張を伝える学習活動をとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと(第三号)、また、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。	102~105
	書くこと	課題作文	条件に応じて説得力のある文章を書く	●図表を読み取って自分の考えをまとめ、交流する活動をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うこと(第一号)、また、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うこと(第二号)をねらいとしています。	52~57
		批評文	観察・分析をとおして評価する	●社会生活の中から課題を取り出し、取材や調査を重ねながら批評文を書くことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うこと(第一号)、また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと(第三号)をねらいとしています。	72~75
	読書の広場	小さな図書館		●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、47冊の図書をテーマ別に紹介しています(第一号、第二号、第三号、第四号、第五号)。	220~225
資料編	●幅広い知識を身につけ、自主および自律の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用できる実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号、第二号)。			261~ 折り込み	
	情報を活用する	情報探しの方法	●日本十進分類法やインターネットの検索方法などを提示し、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	262~267	
	古典芸能に親しむ	能・狂言の世界 狂言 柿山伏	●日本が世界に誇る伝統芸能である狂言の世界に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	270~277	
	社会生活に生かす	話し合いの形式を選ぶ	●集団におけるさまざまなコミュニケーションの形式を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	280~281	
	参考資料	日本文学名作集	●奈良時代から現代の小説にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	288~291	

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

▶ 全ての学習者が学習しやすい紙面づくり

- ユニバーサルデザインに配慮しています。特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。

特別支援教育への配慮

- 各教材の冒頭に学習のねらいを提示し、学習活動の手順を丁寧に示しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど情報を整理し、わかりやすく、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなるよう工夫しました。
- 情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、わかりやすく、見やすくしています。
- 挿絵・図版を適所に配置し、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えています。各学年の「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、わかりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるように工夫しました。

カラーユニバーサルデザインへの対応

- 色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。
- 識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。
- 色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにしました。
- 識別しやすい色を追究し、古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。

▶ 環境にやさしい教科書

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

▶ その他の配慮事項

- 製本は堅牢で、十分な耐久性を備えています。
- 教材で使用している文字については、独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を開発して、画数や点画の方向等においても誤解が生じないようにしました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

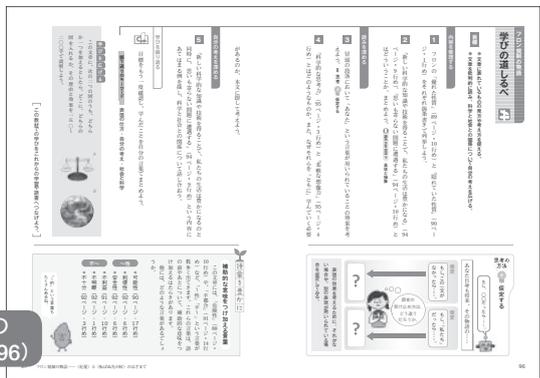
受理番号	学校	教科	種目	学年
31-92	中学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称		教科書の記号・番号		教科書名
15 三省堂		国語 902		現代の国語 3

1 編修上特に意を用いた点や特色

主体的に学ぶ

1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り, 学びに向かう力

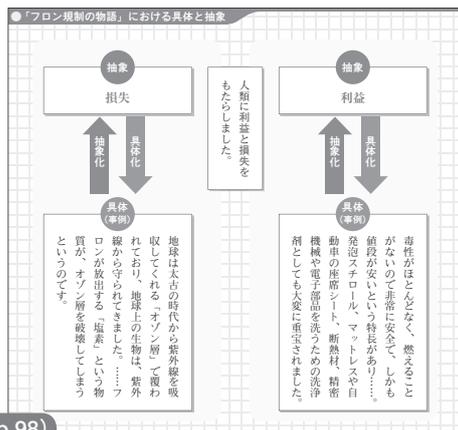
- 各教材冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し, 教材の最後には学習を振り返る機会を設けました。身についた力を自分で診断・評価し, 次に生かすしくみです。
- 学習指導要領の指導事項をふまえて学習の系統化を図り, 基礎・基本を段階的に, 確実に習得できるようにしました。「読むこと」教材の「学びの道しるべ」では, 丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。



「フロン規制の物語」の「学びの道しるべ」(p.96)

2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ, 言葉で考える力, 語彙の拡充

- 「読み方を学ぼう」では, 「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を図解で示しました。他教材や自主的な読書, 表現活動などで繰り返し活用できる全 22 の方略を 3 学年に配置しています。
- 各方略は, 「学びの道しるべ」の課題と関連づけて示しています。
- 巻末には, 「『読み方を学ぼう』一覧」を示しました。



「読み方を学ぼう④ 具体と抽象」(p.98)

▶ 各教材での学習の流れ (例「読むこと」)

見通し

ステップ1 目標の確認

目標を確かめて, 学習の見通しをもちます。

主体的・対話的で深い学び

ステップ2 内容を整理する

情報を整理・確認して, 文章の内容や構成をつかみます。自学自習にも対応した課題を設定しています。

ステップ3 読みを深める

文章を詳しく読み, 対話をとおして内容や構成・表現の仕方についての理解を深めます。

ステップ4 自分の考えを深める

文章を読んで理解したことをもとに, 自分の考えを深めたり, 広げたりします。

振り返り

ステップ5 学びを振り返る

自分の学習を振り返って評価し, これからの学習へ生かします。

+α 学びを広げる

ステップ1~5までの学習を活用して取り組み, 学びをさらに広げたり, 深めたりします。

▶ 「読み方を学ぼう」の一覧

1年	2年	3年
1 説明文の基本構造	1 人物設定	1 回想
2 人物関連図	2 発展的な論の展開	2 批判的な読み
3 行動描写	3 想像	3 省略
4 三角ロジック	4 図表と文章	4 具体と抽象
5 詩の表現技法	5 物語の転換点	5 状況・背景
6 情景描写	6 象徴	6 反復
7 要約	7 例示	※網掛けは, 折り込み形式で説明文の「読み方」を示したものです。
8 語り手・視点	8 心内語	

- 言葉による見方・考え方をはたらかせ、情報と情との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法を「思考の方法」として示しました。
- 3年間を通して、9種類の「思考の方法」をバランスよく配置し、各教材の学習活動の文脈にそって活用できるように図解を中心に示しました。
- 資料編には、「『思考の方法』一覧」を示しました。
- 各教材の「語彙を豊かに」では、理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感を磨くために、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げました。

対話をとおして学ぶ

③ かかわる力を育てる —対話・合意形成、コミュニケーション能力

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話をとおして考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 第1単元には「グループディスカッション」を設け、話し合いを効果的にするための「コツ」を系統的に示しました。

④ 「共生社会」の一員として —多様な価値観、もの見方・考え方の広がり

- 価値観が多様化するグローバル社会で求められる幅広い資質・能力の育成につながる題材を精選しました。

深く学ぶ

⑤ 「自分の考え」をつくる —思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話をとおして考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 全ての教材において、自分の考えを形成する学習過程を重視しています。
- 第6単元「情報を関連づける」では、図表・文章など多様な情報を関連づけながら、現代の課題について考える学習を設定しました。

⑥ 言葉と文化の担い手として —豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

- 本編末尾の「読書の広場」には、多様なジャンルから5本の教材を配置しました。豊かな言語文化にふれるとともに、「読み方を学ぼう」で習得した方略を活用できる教材を掲載しています。
- 「読書の広場」と古典教材には二次元コードを設け、ウェブサイト上に、図解した読みの方略や、補充教材として使える資料を豊富に掲載しています。

「思考の方法」の一覧	
思考の方法	表現例
① 順序立てる	まず……。次に……。最後に……。
② 比較する	〇〇と□□を比べると……。
③ 分類する	全体を三つにグループ分けすると……。
④ 関連づける	〇〇と□□を関連づけると……。
⑤ 立場を変える・多角的に見る	〇〇の立場に立って考えると……。
⑥ 理由づける	どうしてそうなるかという……。
⑦ 具体化する	例えば〇〇だ……。
⑧ 抽象化する	つまり〇〇だ……。
⑨ 仮定する	もし、〇〇だったら、どうなるか……。

「おくのほそ道」の「思考の方法」と「語彙を豊かに」(p.128~129)

「グループディスカッション—合意形成に向けて話し合いを計画的に進める」(p.34)

「情報—複数の情報を関連づけて考えをまとめる」(p.140)

2 対照表

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
1 豊かに想像する	詩	岩が (吉野弘)	●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読イ 考えを伝え合う	16~19	2
	小説	握手 (井上ひさし)	●読ア 文章の種類をふまえて展開の仕方などを捉える。 ●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 [言語活動] 読イ 批評する	20~31	4
	読み方を学ぼう①	回想		32	
	言葉発見①	辞書の語釈	●言葉イ 理解や表現のために必要な語句の量を増す。	33	1
	話す聞く	グループディスカッション 合意形成に向けて話し合い を計画的に進める	●話聞工 聞き取った話を評価し、考えを広げ深める。 ●話聞オ 進行を工夫し発言を生かし、合意形成に向けて 考えを広げ深める。 [言語活動] 話聞イ 議論	34~37	4
2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう②	批判的な読み 「批判的に読む」とは (吉川芳則)	●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読ア 考えを文章にまとめる	40~43	1
	評論	問の文化 (長谷川権)		44~51	3
	書く	課題作文 条件に応じて説得力のある文章 を書く	●書ウ 表現の仕方や適切な引用などを工夫する。 ●書工 目的や意図に応じた表現かなどを確かめる。 [言語活動] 書ア 論述	52~57	4
	漢字のしくみ	四字熟語	●言葉ア 常用漢字の大体を読む。 ●言葉イ 理解や表現のために必要な語句の量を増す。 ●言葉イ 慣用句や四字熟語などについて理解を深め使う。	58~59	1
3 ものの見方・感性を養う	解説	俳句の世界 (夏井いつき)	●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読イ 批評する	62~64	3
	コラム	夏井いつきの赤ペン俳句教室		65	
	俳句	俳句十句		66~70	
	読み方を学ぼう③	省略		71	
	書く	批評文 観察・分析をとおして評価する	●書イ 文章の種類を選択し、読み手を説得できるように 文章の構成を工夫する。 ●書オ 論理の展開などについて自分の文章のよい点や改 善点を見いだす。 [言語活動] 書ア 批評	72~75	5
	言葉発見②	和語・漢語・外来語	●言葉イ 理解や表現のために必要な語句の量を増す。 ●言葉イ 和語、漢語、外来語などを使い分け、語彙を豊 かにする。	76~77	1
	随想	希望 (大石芳野)	●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読ア 討論する	78~83	2
私の読書体験	谷間の君へ (宮下奈都)	●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読ウ 実生活への生かし方を考える	84~85	2	
4 論理的に考える	論説	フロン規制の物語 ——(杞憂)と(転ばぬ先の杖) のはざままで (神里達博)	●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 [言語活動] 読ア 考えを文章にまとめる	88~97	4
	読み方を学ぼう④	具体と抽象		98	
	言葉発見③	慣用句・ことわざ・故事成語	●言葉イ 理解や表現のために必要な語句の量を増す。 ●言葉イ 慣用句や四字熟語などについて理解を深め使う。	99~101	1
	話す聞く	パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う	●話聞ア 社会生活の中から話題を決める。 ●話聞イ 説得できるように構成を工夫する。 ●話聞ウ 状況に応じて言葉を選ぶなど表現を工夫する。 [言語活動] 話聞ア 提案・主張	102~105	4

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
5	古典に学ぶ	古文	和歌の世界 ——万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集	●言語文化ア 歴史的背景などに注意して古典を読み親しむ。 ●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。	108～117	4
		コラム	コミュニケーションツール としての歌	●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 【言語活動】読イ 批評・考えを伝え合う	118～119	
	古文	おくのほそ道 (松尾芭蕉)	●言語文化ア 歴史的背景などに注意して古典を読み親しむ。 ●読ア 文章の種類をふまえて展開の仕方などを捉える。 ●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読イ 批評・考えを伝え合う	120～129	3	
	読み方を学ぼう⑤	状況・背景		130		
	言葉発見④	言葉の現在・過去・未来	●言語文化ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。	131	1	
	漢文	論語	●言語文化ア 歴史的背景などに注意して古典を読み親しむ。 ●言語文化イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を使う。 ●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読ア 討論・文章にまとめる	132～134	2	
	漢文の読み方	訓読の仕方の確認	●言語文化ア 歴史的背景などに注意して古典を読み親しむ。 ●読ア 文章の種類をふまえて展開の仕方などを捉える。	135		
表現プラザ	漢字一字で表現すると	●書ア 目的や意図に応じ社会生活の中から題材を決める。 ●書オ 論理の展開などについて自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 【言語活動】書ア 紹介	136～137	2		
6	情報を関係づける	情報	複数の情報を関連づけて 考えをまとめる	●話聞オ 進行を工夫し発言を生かし、合意形成に向けて考えを広げ深める。 【言語活動】話聞イ 討論	140～141	2
		論説	情報社会を生きる ——メディア・リテラシー (菅谷明子)	●読ア 文章の種類をふまえて展開の仕方などを捉える。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読ア 討論する	142～147	3
		実用文	広告の読み比べ	●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 【言語活動】読ウ 実生活への生かし方を考える	148～149	
		書く	ポスター 情報の信頼性を確かめて考えを 発信する	●書ア 材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ●書イ 文章の種類を選択し、読み手を説得できるように文章の構成を工夫する。 ●書ウ 表現の仕方や適切な引用などを工夫する。 【言語活動】書イ 編集	150～152	4
		文法の窓	表現につながる文法	●言葉ウ 話や文章の種類と特徴について理解を深める。	153	2
7	読みを深め合う	詩	初恋 (島崎藤村)	●読ア 文章の種類をふまえて展開の仕方などを捉える。 ●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 【言語活動】読イ 考えを伝え合う	156～158	2
		コラム	文語定型詩と口語自由詩		159	
		言葉発見⑤	相手や場に配慮した言葉遣い	●言葉工 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。	160～161	1
		小説	故郷 (魯迅 [訳] 竹内好)	●読イ 批判的に読み、ものの見方や考え方について考える。 ●読ウ 構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ●読工 人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読イ 批評する	162～177	5
		読み方を学ぼう⑥	反復		178	
読書活動	ブックトーク	●話聞イ 説得できるように構成を工夫する。 ●話聞ウ 状況に応じて言葉を選ぶなど表現を工夫する。 【言語活動】話聞ア 提案	179	2		

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
8 視野を広げる	論説	「文殊の知恵」の時代 (北川達夫)	●読工 人間, 社会, 自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読ア 考えを文章にまとめる	182～185	2
	小説	坊っちゃん (夏目漱石)	●読ウ 構成や論理の展開, 表現の仕方について評価する。 ●読工 人間, 社会, 自然などについて自分の意見をもつ。 【言語活動】読イ 批評する	186～198	3
	話す聞く	名言集 中学校生活を振り返って	●話聞ア 多様な考えを想定し, 伝え合う内容を検討する。 ●話聞オ 進行を工夫し発言を生かし, 合意形成に向けて 考えを広げ深める。 【言語活動】話聞イ 取材・編集会議	200～205	2
	書く		●書ウ 表現の仕方や適切な引用などを工夫する。 ●書工 目的や意図に応じた表現かなどを確かめる。 【言語活動】書イ 編集		5
		歌の言葉	さくら(独唱) [歌] 森山直太朗		206～207
読書の広場		文法のまとめ	●言葉ウ 話や文章の種類と特徴について理解を深める。	208～211	—
		三年間の文法の総まとめ	●言葉ウ 話や文章の種類と特徴について理解を深める。	212～219	—
		小さな図書館	◎幅広い読書への誘いを示し, 学んだことを活用する場を 用意するとともに, 読書に親しむ態度の育成を図っている。	220～225	適宜
	小説	高瀬舟(森鷗外)		226～237	
	物語	サンバ舞う空 (石垣幸代・秋野和子)		238～245	
	古文	近世の短詩 ——俳句・川柳・狂歌		246～249	
	随想	「ありがとう」と言わない重さ (呉人恵)		250～255	
評伝	武器なき「出陣」 ——千本松原が語り継ぐ (船戸政一)		256～260		
資料編	情報を活用する	情報探しの方法	◎情報収集と活用のヒントや情報機器の活用法を示し, 社会生活において適切に情報を扱う力を高めることを図っている。	262～267	適宜
		引用と著作権		268～269	
	古典芸能に親しむ	能・狂言の世界	◎古典芸能への誘いを示し, 伝統文化に親しむ態度の育成を図っている。	270～271	
		狂言 柿山伏		272～277	
	社会生活に生かす	メモを活用する	◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や, 他教科の学習, 日常生活・社会生活における言語活動を支える学びの方法を整理し, 国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成や, 伝え合う力を高めることを図っている。	278～279	
		話し合いの形式を選ぶ		280～281	
		辞典を活用する		282～283	
		手紙・はがき・メールの書き方		284～285	
		原稿用紙の使い方・推敲の仕方		286～287	
	参考資料	日本文学名作集	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し, 国語に対する認識を深め, 国語を尊重する態度の育成を図っている。	288～291	
		学習用語辞典		292～297	
		語彙の広がり		298～301	
		「思考の方法」一覧		302～305	
		三年生で学ぶ漢字字典		306～319	
		三年生で学ぶ音訓		320	
小学校六年生で学習した漢字			321		
常用漢字表音訓一覧			322～334		
常用漢字表付表			335		
折り込み	「読み方を学ぼう」一覧		折り込み		

※漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」は, 年間を通してバランスよく学習できるよう, 各単元に年間8箇所(各1時間)配置した。